



品川シルバー大学同窓会

令和元年 9 月 25 日

第 83 号

会 報

品川シルバー大学同窓会
〒140-0062
品川区小山6-6-10

見学会・講演会のメールでの申込みは ssu.dosokai@gmail.com (問合せ080-6634-6797)

第 2 回 見学会 報告

- 日 時 令和元年7月16日(火)
- 場 所 品川区議会棟
- 参加人数 80名

品川区議会議場を見学して

～防災センター体験～

鈴木 信平



「品川区民憲章」を熟読玩味し、品川区を自覚しての肌寒い雨降りの午後の見学会。長い間区民として住んでいながら区議会を見学する機会なく、なにか気の引き締まる緊張感があった。第三庁舎講堂に集合した。

議員との交流が楽しめる。副議長、竹内議



員の歓迎の言葉があった。品川区の変わりゆく情景として東品川公園をスライドで紹介された。区議会の構成や常任委員会・議会運営委員会・特別委員会等、各議員の挨拶、広報・議会政策・住民参加で、どうしたら最善か討議し、住民参加の懇談会や議会改革等の方向性を決めて、テーマを絞るスライド広報だった。

第2班でということで講堂を出たが、担当役員の誘導指示がなく、庁舎をウロウロし、執務室の廊下を右往左往してしまった。グループ懇談の部屋に到着した時は終了間際で、議題はわからず、同席している議員の名前すら不明のまま散会になった。

区議会議場へ、ここでも、案内役が誰なのかも解らず議員の席に座って360度場内を見

広報部からのお願いとご連絡(郵便料金値上げとメールの扱い)

同窓会では、会員の皆様からの投稿をお待ちしております。写真やイラスト、作品(書画)、紀行文、俳句、川柳、等々お寄せいただきますようお願いいたします。また見学会等は「しながわスマイルネット」の「募集」欄にてもお知らせしております。当会報は写真部分をカラー化し「お知らせ」欄に毎号掲載されます。

URLは <http://shinagawa-smile.net/> です。

郵便料金の値上げが予定されております。往復はがきでは月をまたぐと復信のみ料金上がる可能性もあります。見学会等申込時、スマホ、パソコンをご利用の方はメール ssu.dosokai@gmail.com であれば郵便料金のご負担はございません。メールでのお申し込みをお勧めします。





回す。議長の高壇権威の象徴。そんなことを考えながら、支持者の議員と雑談したのち議場を出た。

真面目に政治に取り組む、若さあふれる区議会議員イコール「カッコイイ」姿であった。

議場内の丁寧に説明する責任者がいなかったことが残念です。

防災センターに移動。火災予防の見学実践は、区民として大切なこと真剣であった。大変良かった。実際に災害火災を想定したその現場で直接ホースを手にして消火する実践を体験した。会場の中に立ち並んでいる手動の消火器の方が身近に大切のように感じ、係員と消火器を眺めていた。集合住宅のエレベーターの出入り口に必ず設置されているから。そちらの器具の実践訓練することの方が重要ではないかと思えた。



品川区議会棟見学と議場360度見回せたという安堵感が残った。いつかもう一度見学したいと思いました。区民としていい見学でした。ありがとうございます。

(2006年入会)

参加者からのひとこと感想

- ・品川区議の方たちのお話をお聞きしずっと身近に感じました。議長席に座り写真を写していただき感動です。
- ・大変有意義な体験が出来て参加して良かったです。初めてのOB1年生で入会して楽しかったです。これからもどんどん催事に参加したいと思います。議会見学と議員さんたちと接したことは大変勉強になりました。若い議員さんたちを見て、日本、いや品川区は大丈夫だなと思いました。定期的に企画していただきたい催事の1つです。大変有難うございました。
- ・本会議場を見学でき有意義でした。区議の方が沢山参加して下さりお話も出来とてもよかったです。又楽しい企画を楽しみにしています。
- ・大変有意義でした。区の役割はある程度知っていましたが議場は初めてでした。

※この見学会については8月29日発行の「品川区議会だより」(第276号)にも掲載されました。また当見学会において、役員配置に不手際があり、ご迷惑をおかけ致しましたことをお詫びいたします。

品川区文化観光課との懇談会を開催

- 日 時 令和元年9月4日(水)
- 場 所 区役所354会議室にて
- 出 席 文化観光課 古巻課長
生涯学習係 桑谷係長
同窓会役員 20名

保坂会長あいさつの後、古巻課長より「いきいきコース」担当に対する謝意を述べられ、「区議会見学」が議会においても非常に好評であったとお話があった。

係長より、昨年のシルバー大学募集に大幅な定員割れがあり、原因の調査、本年の対応について苦慮されているとの話があった。

課長より、同窓会創立20周年に当たる来年の行事には区としても内部で調整し、協力したいとのことでした。

一時間余りの懇談であったが、今後とも区の協力を仰ぎ、会員のための同窓会を盛り立てていこうという点では意見の一致をみた。

第2回講演会報告

もう1つの日本～エミシから見た歴史～

神倉 力 先生

○日 時

令和元年8月21日(水)

○場 所

中小企業センター3階
レクリエーションホール

○参加人数

111名

講演要旨

書き物で残された歴史は、書いた人の意思が反映しています。私たちが教わった日本史も例外ではなく、勝った側の記録です。古来、日本には日高見国(別名・日ノ本)という国がありました。そこへ侵攻してきた倭(ヤマト)が日高見の先住民を征服し、征服した国の国名「日本」を名乗るようになりました。歴史の教科書では4世紀半ばに大和朝廷が統一国家をつくったと教わりましたが、それはほぼ近畿地方以西でした。日本国は徐々に勢力を東進・北上し、今の日本列島統治の姿になりました。「日本」という国名を名乗るようになったのは7世紀になってからです。

最新のDNA研究によると、日本列島に日本人が渡来したのは、従来の弥生時代、縄文時代の2段階ではなく、3段階だろうと推測されます。2万年前までは日本列島は大陸とつながっており、最初に各方面から縄文人が渡来。次に「海の民」「稲作農耕民」が渡来。第3次にやってきたのが今の日本民族の主流をなすヤマト民族で、先住民を追いやりました。ですから両端に追いやられたアイヌと琉球のDNAが最も近く、次に追いやられた東北(エミシ)と九州南部、出雲の人たちのDNAが近いのです。「日本は単一民族」と言われますが、実は多民族複合国家です。多数派はヤマト系ですが、エミシ系、ハヤト・クマソ系、リュウキュウ系、アイヌ系、それに朝鮮系、中国系がいます。ほとんどは混血したので「単一民族」のように見えるのです。DNAではヤマト民族が9割、先住民の縄文人が1割だそうです。

征服された東北の人は、本来「エミシ」(気高



き勇者)でしたが、征服した大和国家は、それを「エビス」と名付け「蝦夷」と蔑みました。征服された東北では、ヤマトとの戦いを「東北5大戦争」と言っています。それは①801年の坂上田村麻呂による蝦夷平定 ②1051-1062年の前九年の役 ③1189年の源頼朝による奥州平定 ④1590年の秀吉による奥州仕置 ⑤明治の戊辰戦争。エミシは対ヤマトの戦いにすべて敗れ「日本」に統一されました。それでも日本は実質的に統一されず、鎌倉以降「蝦夷」と呼ばれた北海道が統一されたのは、土人(アイヌ)を征服して北海道旧土人保護法をつくった1899(明治32)年でした。また「琉球」と呼ばれた沖縄が日本政府の統治下に入ったのは1879(明治12)のことでした。

征服者の歴史は残っていますが、征服されたエミシやアイヌ、琉球民族の歴史を私たちは教わっていません。征服者側の視点だけでなく、征服された側の視点を持つことは、最近クローズアップされている日韓・日朝問題を考える参考になると思います。

(2017年入会)

参加者からのひとこと感想

- ・お話の内容があまりにこく、この時間内では消化できないところがありましたが、エミシの歴史を知り本当に歴史は勝者のものだと思ひ知りました。講義内容によっては、何回かやるのもよいのではと思います。
- ・ヤマト民族によるエミシを征服、ヤマトがアイヌ民族を征服、日本列島が統一されたのが明治32年、新たな歴史感を知りました。
- ・自分達が学校で習った歴史は大体が勝者の側に立った記述で真実の姿を伝えていない場合が多いが今日の講演その感を強くしま

した。真実には両方の側からのアプローチが必要だと思えます。

- ・アイヌの歴史に対する理解がなかったので、少し理解することができた。話の内容は難しかった。
- ・DNAからの民族の話はおもしろかった。日本人の歴史の流れで移動するのがおもしろかった。

会員だより



①「荏原自然観察会」の紹介

会 長：坂田博子 (2019年2月卒業)

連絡先：090-2320-4572 (坂田)

当観察会は、品川シルバー大学いきいきコース平成30年度後期【自然環境と人類の共生】で唐沢孝一先生(自然観察大学学長)の講義を受講したシルバー大学生(卒業生と受講生)で立ち上げたものです。

「都会で出来る自然観察～観察を通して見えてくる自然環境～」という「いきいきコース」でのコンセプトに沿い、都内の公園を訪れて観察会を催しております。2019年1月の新

川柳雑詠

担ぎ手の無い神輿の秋祭り
あの世では声掛けしないで妻が言い
妻が切り夫がつなぐ赤い糸
写真見て本気になったダイエツト
お互いに本音ぶつけて仲直り
参観日ママもちやつかりニューモード

のぼる
のぼる

公二
公二

邦彦
邦彦

「ほのぼの川柳会(旗の台文化センター)」より

宿御苑に始まり、すでに観察会を4回催しております。次回は第5回10月25日(金)自然教育園(港区)「秋の野草」を予定しております。

②「そば研究会 戸越庵」を主宰していました

佐藤です。そば打ち道具一式差し上げます。

(麺打ち台脚、台、麺棒、包丁、蕎麦猪口等)

条件：自己使用、自己搬送可能な方。直接連絡ください。

品川区戸越 佐藤榮一 (3782-3332)

(1994年入会)

講演会・見学会のご案内

★A 講演会(第3回)

演題 「令和」で読み解く『万葉集』

講師 清泉女子大学日本語日本文学科

専任講師 仲谷健太郎 先生

日時 令和元年10月23日(水)

受付 14時～16時

場所 13時30分～13時50分
中小企業センター
レクリエーションホール

★B 見学会(第4回)

行先 小金井公園と

江戸東京たてもの園

日時 令和元年11月20日(水) 2部制

集合 JR中央線 武蔵小金井駅
中央改札口外

時間 午前の部 9時40分～10時

午後部 11時40分～12時

会費 50円

詳細内容・申込み方法

同封のチラシを参照ください。

多数の方のご応募をお待ちして

ます。

★今後の行事予定

・第4回講演会

演題 日本音楽高等学校による

クリスマスコンサート

日時 令和元年12月24日(火)

・第5回見学会

行先 花王ミュージアム

日時 令和2年1月中旬